それにしてもあたしは奥さんにでも三百円の
お金をいれいのふいことには、あの家はお渡しすることはできませんよ。

秀作　お前[redacted]は[redacted]畜生だ！　お前はこのま（わしの家を）
ゝにして置いてわしの[redacted]妻子までに
[redacted]苦しめようといふのか。

藤山　まあえんあれのでせうね。あの家
さへあのまゝであれば旦那がどうあり
なさらうと、わたしは奥さまあり、坊っちや
んありにお金を請求する（権利があり）ますから
ねえ。

〈

秀作　お前は何といふ人非人だ。あの家を
あのまゝにして置いて、（わしが死んでも、それを種子）
母子供たちまでも苦しめようといふのか。

藤山　あなたも縷々お罠におのへりなす
つたのさね。

秀作　わしが頭を下げてのお願ひぢや。
どうぞもうこれくらゐのところであの家を引
き渡してくれ。お願ひぢや。わしは
わしは遺されたた子供たちまでも苦しめ

ともかく、
虫の遺

39